

# 【子どもアドベンチャーカレッジ2022】「科学」ってなんだ？

団体名 : はまぎん こども宇宙科学館

目的 : 「科学」とはなんなのか、科学館は科学の楽しさを伝えている場所であることを知ってもらうこと

実施日時 : 2022年8月17日(水) 10:30-12:00(午前),  
13:30-15:00(午後)

実施場所 : はまぎん こども宇宙科学館 2F 実験室

参加児童数 : 午前9人、午後9人

実施内容 : ドライイーストによるアルコール発酵の実験



ドライイーストと砂糖を混ぜて5分待つと泡(二酸化炭素)が出はじめます。30分以上待つと、500mLにペットボトルの半分くらいまで膨らみます。トウモロコシやトマトといった野菜の缶詰めでも膨らみました。



野菜を発酵させる時、児童たちはいつ変化が起きるのが気になって、じっくりと覗き込んでいました。教室終わりの写真撮影では、泡がたっぷりになったペットボトルを持って、掲げてくれました。

# 振り返り会での児童たちのコメント

- とても楽しくて、来て良かったと思いました。
- アルコール発酵がガソリンの代わりになろうとしていることが知れた。
- 砂糖が発酵するのは知っていたが、それ以外のものでも発酵できるのは知らなかった。家で他の物を発酵させたい。
- 酵母の力を借りて植物からアルコールを作ること家族に話して、科学の面白さを伝えたい。
- 科学は何か+何かをすると、とても面白いことが起きるんだな  
～！と思いました。

# プログラムを終えて

## ・スタッフの感想

来て良かったという言葉をもって自信に繋がった。

家で他の物を発酵させたい、家族に話して科学の楽しさを伝えたい等、教室の後も続けたいと思ってもらうことができた。今後も意欲が持続する教室を実施し続けたい。

## ・学生コーディネーターの感想など

子供たちが科学の面白さを感じられたことや研究者という職業を知ってもらえたことは、今後、将来について考える時に役立つと考えています。その為、将来を考えるきっかけや手助けをしたいという自分の目標を達成できたのではないかと考えております。

自分が思っていたよりも子供たちはずっと大人で、考えがしっかりしていることに気がつきました。実験を通して感じたことなどを聞いてみると、しっかりと受け答えをすることが出来たり、私も思いつかない発想などをしたりしていて、私自身が勝手に持っていた小学生のイメージとは全く異なりました。小学生に対して、子供として接するのではなく、一人の人として関わって行くことが重要だと感じました。